
令和2年度赤十字血液シンポジウム(中四国ブロック)のご案内

平素より日本赤十字社の血液事業に対して深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、中四国ブロック血液センターでは新型コロナウイルス感染症への対策として令和2年度赤十字血液シンポジウムの現地開催を中止し、下記のとおりオンラインライブ開催することといたしました。パソコン、スマートフォン、タブレットでの視聴が可能ですが、視聴には参加登録が必須となります。

ご多忙中誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、演題等につきましては、別紙をご参照ください。

記

日時:令和3年2月6日(土) 13:00~16:10(予定)

方法:オンラインライブ開催(上記日時のみ視聴可)

- ◎参加費は無料です(上限1000名)。
- ◎ご希望の方は**参加登録**をお願いいたします。
- ◎本シンポジウムは次の制度の単位となります。
 - ・ 日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
 - ・ 日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度
- ◎上記認定制度の参加証明書申請はシンポジウム当日のオンラインアンケート内で行っていただく必要があります。

令和2年度 赤十字血液シンポジウム 【中四国ブロック】

令和3年2月6日(土)13:00~16:10

テーマ 輸血医療を取り巻く現状課題

内容 第1部 座長:小林正夫(日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長)

13:05 講演1 今後の輸血療法、血液事業を考えるうえで、期待される
新たな血液製剤 —海外の状況を俯瞰して

宮田 茂樹(日本赤十字社中央血液研究所副所長)

13:40 講演2 人が育つリフレクションの導入とその効用

田村 由美(日本赤十字広島看護大学学長)

第2部 座長:松岡 均(島根県赤十字血液センター所長)

14:35 講演3 ウイルス肝炎の疫学と最近の感染症の動向

田中 純子(広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学教授)

15:15 特別講演 COVID19感染症 —発生から1年を経て—

岡部 信彦(川崎市健康安全研究所所長)

(注1) オンラインライブ開催となります(Zoomウェビナーを利用)。開催日時以外の視聴はできません。

(注2) 視聴には参加登録が必須となります。日本赤十字社中四国ブロック血液センターホームページから登録してください。参加者が上限に達した場合は視聴できないこともあります。あらかじめご了承ください。

(注3) 参加登録期間:令和3年1月6日(水)~1月19日(火)

上記期間以外での登録はできません。

主催:日本赤十字社中四国ブロック血液センター

共催:島根県赤十字血液センター 日本輸血・細胞治療学会中国四国支部

後援:日本医師会 日本薬剤師会 日本病院薬剤師会 日本看護協会 日本臨床衛生検査技師会 日本輸血・細胞治療学会



【お問い合わせ】

日本赤十字社 中四国ブロック血液センター 学術情報課 TEL 082-241-1619